

2022年11月7日

各 位

株式会社 みなと銀行  
みなとキャピタル株式会社

### 「みなと成長企業みらいファンド2号」による投資実行について

関西みらいフィナンシャルグループの株式会社みなと銀行（社長 武市 寿一）、みなとキャピタル株式会社（社長 山下 勝司）は、りそなグループのりそなキャピタル株式会社（社長 菊池 英勝）と共同で設立した「みなと成長企業みらいファンド2号投資事業有限責任組合」より、2022年10月、セレンディクス株式会社（以下、セレンディクス）への投資を実行しましたのでお知らせします。

セレンディクスは、日本初3Dプリンター住宅の開発を手掛けるスタートアップ企業です。

2022年3月に日本初の3Dプリンター住宅「Sphere（スフィア）」10㎡のプロトタイプを24時間以内で完成させました。2022年10月より「Sphere（スフィア）」の販売を開始し、グランピング、別荘、災害復興住宅等での利用を想定しています。

一般住宅向けには「フジツボモデル」49㎡を慶應義塾大学 KGRI 環デザイン& デジタルマニュファクチャリング創造センターとの共同プロジェクトとしてすすめており、2023年春頃には高齢者夫婦を含む2人暮らし向け住宅として販売を予定しています。

将来的には100㎡3百万円の3Dプリンター住宅の開発を計画しています。

“住宅ローンから人々を解放する”ことをミッションとして、3Dプリンター住宅の提供を通して、より多くの人が自由を享受できる社会を目指しています。

今回の投資は人材採用強化及び3Dプリンター住宅の販売体制整備等の資金に充当するものとして、今後の事業拡大及び顧客に対するより一層のサービス向上が期待されます。

みなと銀行グループは、今後も地域の皆さまへの様々な金融・情報サービスの提供を通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

#### 【投資案件の概要】

投資先名	セレンディクス 株式会社 代表取締役 小間 裕康（コマ ヒロヤス）
所在地	兵庫県西宮市甲陽園目神山町1番1号
事業内容	3Dプリンター住宅の開発、販売
投資額	46百万円
投資形態	第三者割当増資

以 上

参考  
「Sphere」



提供：セレンディクス

「フジツボモデル」イメージ図



提供：慶應義塾大学 KGRI 環デザイン&デジタルマニュファクチャリング創造センター 益山詠夢